

自己 PRP 注入療法を受ける患者さんへ

自己 PRP (Platelet Rich Plasma : 多血小板血漿) 注入療法とは

血液中の血小板には組織修復を促す様々な成長因子が多く含まれています。自身の血液を遠心分離機にかけて血小板が多く含まれる血漿 (PRP) を作製し、それを損傷した組織に注射して組織の再生や治癒を促す方法です。主に、損傷をきたした腱、靭帯、筋肉、関節周囲に注射します。

適応となる疾患について

本療法によりゴルフ肘・テニス肘と呼ばれる肘内側・外側上顆炎、ジャンパー膝と呼ばれる膝蓋腱炎、鷲足炎、アキレス腱炎、足底腱膜炎などの腱付着部症や肉離れ、筋・腱断裂、靭帯損傷などのけがをより早期に治癒させる確率を高め、慢性化した腱や靭帯、筋肉由来の痛みを軽減する効果が見込まれます。

他の治療法との比較

ヒアルロン酸注射か光線療法とは機序が異なり、類似する方法はありません。

安全性と注意点について

- ・ PRP を作製するために 1 単位あたり 10cc の静脈血を片側の腕から採血します。
- ・ 静脈血採血による合併症は極めて稀ですが、失神・吐き気・静脈炎・内出血斑・神経損傷が起きる可能性があります。
- ・ 自身の血液から清潔操作により作製しますので、他人からのウイルス感染や注入時のアレルギー反応をきたすことはありません。
- ・ 注射後は PRP の拡散を防ぐため、注射部位によっては 30 分から 1 時間程度の患部の安静が必要となります。注射部位からの感染を防ぐためにも、注射当日の入浴や患部のマッサージ、喫煙、飲酒、スポーツは控えてください。
- ・ PRP の注入には細い注射針を使用しますが、軽度の痛みを伴います。注射後 3~4 日間は、細胞の活発な代謝が生じ軽度の炎症を伴うため、一時的に痛みや腫れ・発赤が出現することがあります。

治療効果について

本療法に関しては、整形外科領域ではアスリートを中心に国内外で普及しつつありますが、まだ十分なエビデンス (医学的根拠) が確立されているとは言えず、現時点では臨床経験則に基づいた治療と言えます。ただ、安全性が高いという点で、従来の治療で改善しない痛みに対して施す価値がある治療と言えます。なお、個人の自然治癒力を利用しているため、治療効果に部位差や個人差があり、治療効果を保証するものではない旨をあらかじめご了承ください。程度によっては複数回の治療が必要となることがあります。

情報の守秘義務に関して

本療法に関する医学的情報は法律で要求される期間、秘密を守って保存します。

なお、治療の安全性及び科学的妥当性の確保の観点から、効果の検証など研究・教育目的に限り、個人を特定できない形で治療成績などの情報を使用することがあります。

以上、自己 PRP 注入療法の本態と目的及びその実施に関わる危険性を十分説明しました。
また、全ての質問に最善を尽くして答えました。今後もあらゆる質問に答えていきます。

平成 年 月 日

神谷整形外科・眼科

説明医師

(自筆署名)

同意書

病名：
治療方法： 自己PRP(Platelet Rich Plasma：多血小板血漿)注入療法
注入部位： 右 左 ()
治療日： 平成 年 月 日
採血量： 10cc 20cc
注入量： 1単位(1cc) 2単位(2cc)
治療費用： 1単位(20,000円) 2単位(40,000円)
*診察料、採血・PRP作製・材料費、注射施術料込み(税別)

私は自己PRP注入療法について、利点や安全性、危険性、治療効果などについて別紙に沿って十分な説明を受け、理解しました。
自身の静脈血を採取して作製した自己PRP注入療法を受けることに同意します。

平成 年 月 日

本人氏名 (自筆署名)

保護者・代理人 (本人との続柄：) (自筆署名)

※本人が未成年または同意能力がない場合のみ

* この治療に対する同意は治療前であればいつでも撤回できます。
また、同意の撤回は治療を引き続き受ける資格を損なうものではありません。
もし、治療期間中に疑問を持った場合には、いつでも尋ねることができます。

神谷整形外科・眼科
TEL 03-6413-7111